

11 大口南小学校 P T A (大口町)

地域自主防犯活動活発化事業

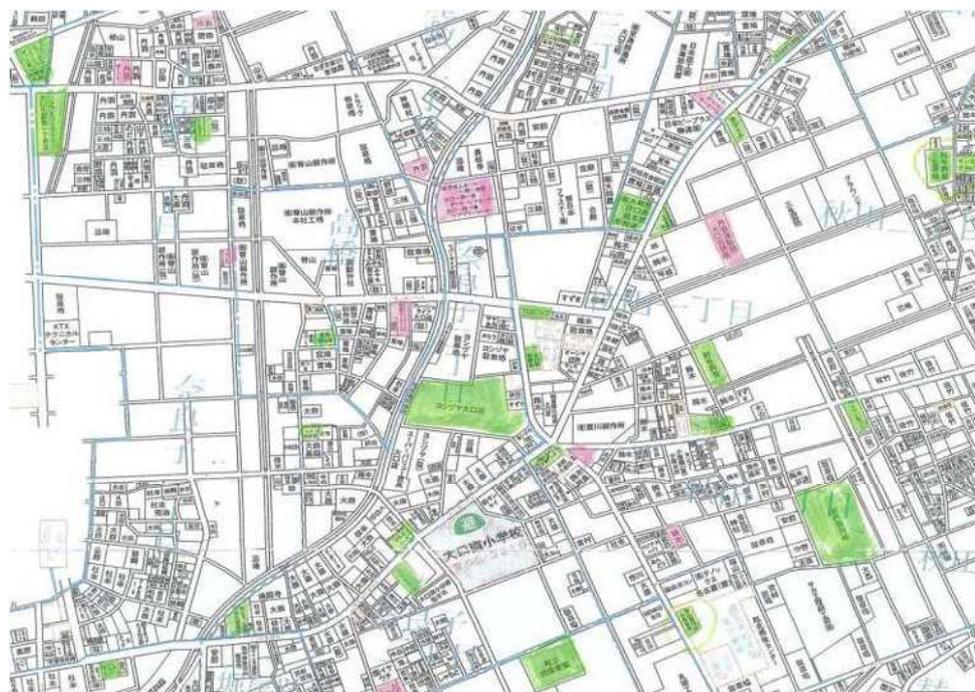
実施結果報告書

1 団体名	大口南小学校 P T A
2 事業名	地域連携型見守り活動強化プロジェクト
3 事業実施結果	<p>大口南小学校の校区は工場が多く、日常的に多くのトラックが行き交うため、交通事故などの危険が多い状況である。また、通学路によっては、住宅がほとんどなく、人目が届きにくい場所が多く、防犯上の懸念もある。さらに、夏場の気温が高い時期には、熱中症のリスクが高まるにもかかわらず、日陰や休憩できる場所が限られているのが現状である。</p> <p>これまでは、P T Aや地域ボランティア組織が協力して見守り活動を継続し、地域全体で安全な登下校を支えてきた。しかし、近年は見守りボランティアの高齢化や担い手不足が進み、活動の継続や拡充が課題となっている。</p> <p>そこで、大口南小学校の P T Aが核となって、子どもたちが安心して登下校できる環境をさらに整備するとともに、地域全体の防犯意識の向上と持続可能な自主防犯活動を目指すことにした。</p> <p>(1) 新たな見守りボランティアの募集と組織の強化</p> <p>現在、地域の見守りボランティア団体は、高齢者の割合が高く今後の持続的な活動体制の構築が課題となっている。一方で、保護者や福祉施設の入所者などが、自主的に子どもたちの登校に付き添う場面もみられる。そこで、定期的で開催している登下校ボランティアとの情報交換会の中で、そういった方々の状況を把握し、新規参入者の拡大を図った。その結果、以前より自主的に活動していた方や、新たに参加を希望する方々が現れ、一定の新規参入者を確保することができた。</p>  <p>【情報交換会の様子】</p> <p>(2) 「子ども 1 1 0 番の家」およびクールステーションの新設・拡充</p> <p>近年、子どもたちが不審者による犯罪に巻き込まれる事案に加え、グリ</p>

ラ豪雨や酷暑といった極端な気象現象が現れるようになり、子どもたちの登下校時の安全が脅かされる場面が増えてきた。そこで、この地域の「南地域自治組織」やP T A、学校が連携し、従来の「子ども110番の家」の機能に加え、極端な天候が出現した際に子どもたちが一時的に避難できる場所（クールステーション）としての機能を備えた商店や工場、公共施設等を確保し、子どもたちの安全確保のための取組を進めることにした。

まず、地域の事情に詳しい南地域自治組織に候補となる施設を挙げていただいた。それを受けて三者で依頼する施設を検討し、11月に依頼文書を発送した。また、本校の学校評議員会には、南地域自治組織の代表者やP T A顧問が参加している点を生かし、評議員会の場で進捗状況を報告し、適切なアドバイスをいただいた。その結果、多くの施設から新設に協力したいとの返事を得て、新設・拡充をすることができた。

協力していただくことになった施設に対しては、「子ども110番の家」の看板を作成し配付した。今後、子どもや地域に情報を発信していく予定である。



【南地域自治組織が作成した候補地地図の一部（緑色が候補地）】

(3) 通学路のストップマーク等安全表示の点検・増設

子どもたちの登下校の安全を守るため、通学路に設置されているストップマーク（横断歩道や交差点での注意喚起表示）は現在100か所以上存在する、しかし、経年劣化のため視認性の低下が課題となっていた。

	<p>そこで、PTAの地区常任委員に現地調査を依頼し、必要な箇所を洗い出した上で、新規設置や既存表示の補修・更新を行った。以前から表示されていたものに比べ、色彩やデザインが目立つため、子どもたちが思わず立ち止まる場面も見られた。また、見守りボランティアの方からもストップマークがあるとよい地点を教えていただけるようになり、地域全体で子どもたちの安全を確保していこうという意識の高まりを感じた。</p>  <p>【ストップマーク新(右)と旧(左)】</p>
<p>4 成果と課題 及び今後の 取組</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>見守りボランティアの募集・組織の強化については、これまで団体に所属せずに自主的に子どもに付き添ってくださっていた方の把握など、現状をつかむことができた点が大きな成果であった。ただし、ボランティアの高齢化問題が解決したわけではない。今後も、継続的にボランティアの募集をかけていく必要がある。</p> <p>子ども110番の家の新設については、地域全体を巻き込んで取り組み、新設を実現することができた。また、快く避難場所として施設の提供を許可してくださった方々が多く、地域全体で子どもたちの安全を守る意識の高まりを感じることができた。</p> <p>ストップマーク等安全表示の設置については、PTAの地区常任委員が、各地区で通学路の安全点検も兼ねて設置すべき箇所を洗い出したため、地域全体で子どもたちが安全に登下校できる環境を整備していこうという意識が高まった。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>今回重点的に取り組んだ3つの取組は、いずれも大きな成果を残すことができた。ただ、いずれも一過性のものではなく、継続的な取組が求められる。特に子ども110番の家については、南地域自治組織が発行している安全マップや大口町の広報に、毎年載せている。今後もそのような場を活用し積極的に安全対策を発信していきたい。見守りボランティア、ストップマークの表示についても、今後も継続して取り組んでいきたい。</p>